東京都

ECO-TOPプログラム

自然環境保全のための人材育成・認証制度

東京都・大学・企業・NPO 等が連携し
自然環境分野で活躍する人材を社会に送り出すための人材育成プログラム

ECO-TOP
プログラムのしくみ

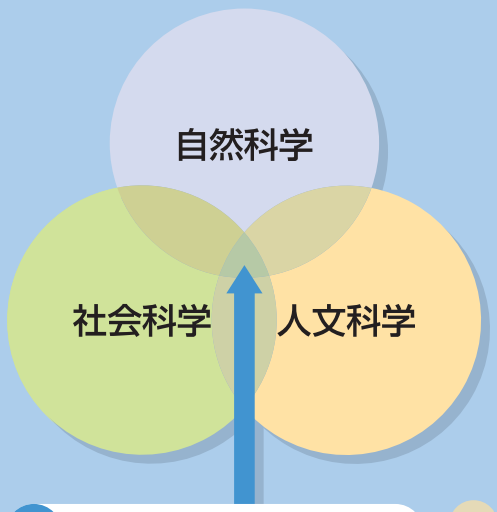
大学や大学院が自然環境保全のための教育課程を設け、東京都が「ECO-TOPプログラム」として認定します。

ECO-TOPプログラムの履修生は、授業で自然環境分野の幅広い知識を得ることができ、インターンシップにより企業、NPO、行政すべてにおいて職場体験をします。

また、プログラムの修了生には、自然環境に関する最新の知識・情報を得る機会を提供するなど、継続的な支援を行っていきます。

〈プログラムの構成〉

Ⅰ カリキュラム
（27単位以上）



- 2 導入の科目（概論）
- 6～ 自然科学分野
- 6～ 人文科学分野
- 6～ 社会科学分野

演習・実習型科目6単位以上

上記数字は各分野の最低限度のカリキュラム数

Ⅱ インターンシップ
（4単位以上）

［事前準備］
大学の実施計画・指導

企業
企業の環境活動など

NPO・NGO
環境保全活動、
環境教育活動など

行政
環境政策、行政サービスなど

［事後のまとめ］
派遣先や地域にも開かれた場での
プレゼンテーションの実施

※詳細はECO-TOPプログラムの認定審査基準を参照　https://www.eco-top.jp/download/

ECO-TOP
プログラム申請から認定まで

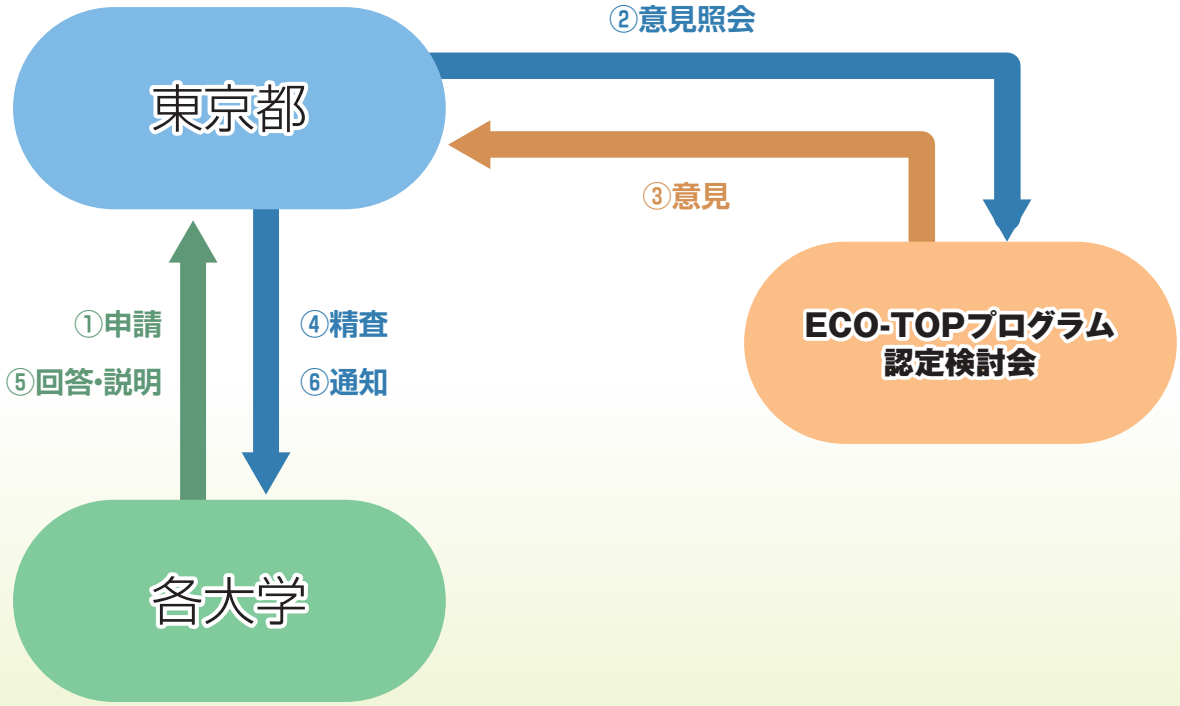
~8月頃 → 1月頃

申請の意向を東京都へ連絡 ▶ 申請書の提出 ▶ 認定検討会 ▶ 認定決定通知

申請内容（概要）

- 申請する学部（学科）の概要
- カリキュラムの科目のシラバス
- 教育点検・改善方法のシステム
- 認定を受けるカリキュラム内容
- インターンシップの計画
- 責任者及び教員体制
- カリキュラムの担当教員
- 人材育成の理念

ECO−TOPプログラム認定の手続



東京都が制定した「ECO-TOPプログラム」認定要綱及び認定審査基準に基づき、大学から申請されたプログラム内容について、認定検討会に意見を聴取し、ECO-TOPプログラムとしてふさわしいかを精査した後、手続を経て東京都知事が認定します。

※認定の様式等は ECO-TOP プログラム認定要綱を参照　https://www.eco-top.jp/download/

首都大学東京　都市環境学部　観光科学科

修了要件:合計34単位以上

		1年 前期	単位	1年 後期	単位	2年 前期	単位	2年 後期	単位	3年 前期	単位	3年 後期	単位	4年 前期	単位	4年 後期	単位
カリキュラム	自然科学					自然環境マネジメント概論Ⅱ	2	観光科学プロジェクト演習Ⅰ	2	生態環境学	2						
						観光地域分析演習	2	生物資源学	2	地域環境学Ⅰ（必1）	2						
								生態地理学	2	地域環境学Ⅱ（必1）	2						
										自然環境地理学	2						
	社会科学			観光環境地図学	2			観光地理学（選必1）	2								
								観光地誌学（選必1）	2								
	人文科学	観光資源論	2							観光科学プロジェクト演習Ⅱ	2						
										観光地域史	2						
	ECO-TOP総合科目			自然環境マネジメント概論Ⅰ	2									自然環境管理学※	2		
インターンシップ 4単位										ECO-TOPインターンシップⅠ	2	ECO-TOPインターンシップⅡ	2				

赤字で表した科目は必修科目、青字で表した科目は選択必修科目（同一数字の中から2単位以上）
※「ECO−TOPプログラム」のための科目であり、観光科学科の卒業要件には含まれない

玉 川 大 学　農学部　環境農学科

修了要件:合計38単位以上（うち演習実習科目を6単位以上）

		1年 前期	単位	1年 後期	単位	2年 前期	単位	2年 後期	単位	3年 前期	単位	3年 後期	単位	4年 前期	単位	4年 後期	単位
カリキュラム	自然科学	環境と農学	2	農場実習Ⅱ	2	植物科学	2	分類学	2	農場実習Ⅲ	1	地球環境と生態系	2	農業と動物	2		
		農場実習Ⅰ	1	環境農学概論	2	植物繁殖学	2	環境科学	2	地理学	2	持続的農業論	2				
				生物科学	2	自然環境保全学	2										
						動物行動生態学	2										
						土壌生態学	2										
						生物環境物理学	2										
	社会科学					地域環境研究	2	環境経済学	2	環境と法令	2	農業マーケティング論	2	緑地環境学	2		
						地域環境論	2			農学国際協力	2						
										環境マネジメント論	2						
	人文科学					比較文化論	2	環境倫理学	2	環境教育	2						
	ECO-TOP総合科目			生態学概論	2							野外安全教育	2	まとめ:自然環境総合演習	2		
インターンシップ 4単位												インターンシップⅠ（主に企業 夏休みに派遣）	2	インターンシップⅡ（行政・NPO中心 春休み〜9月までに派遣）	2		

赤字で表した科目は必修科目、青字で表した科目はそれぞれ選択必修科目、黒字で示した科目は選択科目

千葉大学　園芸学部　緑地環境学科

修了要件:合計42単位以上(うち演習実習科目を6単位以上)

		1年			2年			3年			4年		
		第1・2ターム	単位	第4・5ターム	単位	第1・2ターム	単位	第4・5ターム	単位	第1・2ターム	単位	第4・5ターム	単位
カリキュラム	自然科学 10単位以上	植物形態分類学 植物形態分類学演習	2 2			環境植栽学 緑地科学実験実習Ⅰ(通年,集中) 森林管理学	2 1 2	緑地植物学	2	緑地環境工学 再生生態学	2 2	野生動物保護管理学	2		
	社会科学 9単位以上					自然環境保全学 緑地福祉学 緑地環境学概論 都市緑地学	2 2 2 2	都市計画学 緑政学(集中) 農村環境経済学	2 1 2	風景計画学 農村計画学	2 2				
	人文科学 6単位以上					環境職業倫理学 インタープリテーション論(通年,集中) こころのケアー精神医学(通年,集中)	2 2 2	環境教育学概論	2			環境文化史学	2		
	ECO-TOP総合科目 11単位以上	緑地環境学セミナー	2			緑地環境管理学 安全管理・野外救命法(通年,集中) 緑地環境学実習	2 1 2	環境ガバナンス論 環境健康学実習Ⅰ(集中)	2 2	フィールドコラボレーション(通年,集中)*1	2	園芸療法論 樹木医学	2 2		
インターンシップ 4単位						インターンシップⅠ(通年,集中)*2 インターンシップⅡ(通年,集中)*2	1 1			インターンシップⅢ(通年,集中)*2 インターンシップⅣ(通年,集中)*2	1 1				

・ ECO-TOPプログラムの科目で赤文字で表した科目は必修科目、青文字は選択科目である。選択科目はインターンシップ選択科目以外の選択科目から合計で2単位以上修得する。
・ ECO-TOPプログラムのうち、緑地環境学セミナー、安全管理・野外救命法、フィールドコラボレーション、インタープリテーション論、植物形態分類学演習、環境職業倫理学、緑地環境学実習、インターンシップ関連科目は演習・実習形式で開講する。　・*1　ECO-TOP最終科目　・*2　企業、行政、NPOの三者すべてでインターンシップを行うことを要する。

東京農工大学　農学部　地域生態システム学科

修了要件:合計45単位以上(うち演習実習科目を6単位以上)

		1年			2年			3年			4年		
		前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
カリキュラム	自然科学 16単位			生物多様性保全学	2	植生管理学 水文学 森林生態学 土壌物理学	2 2 2 2	GISの基礎と演習 土壌生態管理学 植生管理学実習 山地保全学 動物生態学	2 2 1 2 2	生態・環境情報工学 森林立地学 リモートセンシング論 動物環境生理学 造園学 山地保全・砂防計画実習 樹木学実習 野生動物保全学実習 森林保護・樹木医学実習	2 2 2 2 2 2 2 1 1	野生動物保全技術論 植生学 環境生理生態学 景観生態学 野生動物保全学	2 2 2 2 2		
	社会科学 9単位			地域社会システム計画論 水資源管理論	2 2	地域社会システム調査実習 サステイナブルツーリズム論	1 1	環境経済学 環境公法 農村地域計画学 森林計画学	2 2 2 2	地域環境社会学 健康アメニティ論	2 2	森林政策学	2		
	人文科学 6単位			ヒトと動物の関係論	2	地域パートナーシップ論	1	比較心理学 環境哲学 環境文化史 農の共生学	1 2 2 2	環境教育学 インタープリテーション技術 農村社会論 比較行動学	2 2 2 1	共生社会思想 動物福祉論 環境倫理学	2 2 2		
	ECO-TOP総合科目 10単位	地域生態システム学Ⅰ 地域生態システム学実習Ⅰ フィールド安全管理学	2 1 1	地域生態システム学Ⅱ 地域生態システム学実習Ⅱ	1 1	地域生態システム学Ⅲ	1							地域生態システム学特別演習Ⅱ	1	地域生態システム学特別演習Ⅲ	2
インターンシップ 4単位								ECO-TOPインターンシップⅠ ECO-TOPインターンシップⅡ	2 2							

赤字で表した科目は必修科目、黒字で表した科目は選択科目

法政大学　文学部　地理学科

修了要件:合計34単位以上

		1年 前期	単位	1年 後期	単位	2年 前期	単位	2年 後期	単位	3年 前期	単位	3年 後期	単位	4年 前期	単位	4年 後期	単位
カリキュラム	自然科学 6単位					生物・土壌地理学及び実験Ⅰ 自然環境の仕組みとその変貌 地球科学概論Ⅰ 人間と地球環境 地形学及び実験Ⅰ	2 4 2 2 2	生物・土壌地理学及び実験Ⅱ 地球科学概論Ⅱ 地形学及び実験Ⅱ	2 2 2	自然地理学特講(4)(生態学) 地理学読図演習(1) 地質・岩石学及び実験	2 2 2	地理学読図演習(2)	2				
	社会科学 6単位					△環境経済論Ⅰ*1※ 社会経済地理学(1) 社会経済地理学(2) 社会経済地理学(3)	2 2 2 2	環境経済論Ⅱ*1※ 自然環境政策論*1※ △社会経済地理学(4)(エコツーリズム)	2 2 2	△環境法Ⅰ*2※	2	環境法Ⅱ*2※	2				
	人文科学 6単位					環境倫理学(1) 文化地理学(1)	2 2	環境倫理学(2) 文化地理学(2) 環境教育論*1※ 日本地誌(1)	2 2 2 2	地理学史(2)	2	環境哲学基礎論*2※	2				
	ECO-TOP総合科目 5単位					自然環境論	2			安全管理・救急救命学*1	1			人文地理学特講(4)(ECO-TOPマネジメント)	2		
インターンシップ 4単位						インターンシップⅠ*1	2			インターンシップⅡ*1	2						

赤字で表した科目は必修科目、緑字で表した科目は選択必修(2科目を選択)、黒字で示した科目は選択科目
*1「ECO-TOPプログラム」のための科目であり、地理学科の卒業要件には含まれない　*2　2013年度入学者より他学部公開科目として適応(地理学科の卒業要件に含むことができる)
※印は人間環境学部の科目

桜美林大学　リベラルアーツ学群　環境学専攻プログラム

修了要件:合計38単位以上(うち演習実習科目を6単位以上)

		1年 春学期	単位	1年 秋学期	単位	2年 春学期	単位	2年 秋学期	単位	3年 春学期	単位	3年 秋学期	単位	4年 春学期	単位	4年 秋学期	単位
カリキュラム	自然科学 6単位以上					植物学Ⅰ 無機化学Ⅰ 気象学Ⅰ 人と自然 環境生物学 自然理解(人は天を見上げて考える)	2 2 2 2 2 2	動物学Ⅰ 植物学Ⅱ 生物学実験Ⅰ 無機化学Ⅱ 基礎有機化学 気象学Ⅱ 地質学Ⅰ 環境生物学 生体物質化学 エネルギーと環境 地球規模環境論Ⅰ 感覚公害論 環境化学	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	動物学Ⅱ 生態学Ⅰ 生物学実験Ⅱ 有機合成化学 地質学Ⅱ 地球規模環境論Ⅱ 専攻演習Ⅰ	2 2 2 2 2 2 2	生態学Ⅱ 自然環境調査法 海洋学 専攻演習Ⅱ	2 2 2 2				
	社会科学 6単位以上	社会理解(環境問題と環境法)	2	国際関係論	4	文系のための環境科学 観光リゾート開発論 観光地域振興論 環境と地域 環境とまちづくり 化学と人間社会 エコビジネス	2 2 2 2 2 2 2	環境ビジネス論 企業とエネルギー 持続可能な開発	2 2 4	環境経済論 環境マネジメント論 国際環境交渉論 都市環境政策Ⅰ 国際協力論 専攻演習Ⅰ 社会環境調査法	4 2 2 2 4 2 2	環境法学 都市環境政策Ⅱ 環境社会学 食品安全論 環境NPO・NGO 専攻演習Ⅱ エコロジー・デザイン特殊講義	4 2 4 2 2 2 2				
	人文科学 4単位以上	オーラルコミュニケーション(話す) オーラルコミュニケーション(聞く)	2 2	地理学概論 集団コミュニケーション	4 2	人間環境学	4			環境倫理学 江戸から学ぶ環境	2 2	環境・生命・人権の哲学 環境教育論	2 2				
	ECO-TOP総合科目 12単位以上	生物学概論 自然理解(実感する化学) 化学概論 自然理解(環境問題入門)	2 2 2 2	環境と文明※ 自然理解(ヒトの生物学) 自然理解(生物の一様性と多様性) 社会理解(環境の科学) 地学概論	4 2 2 2 2	野外安全管理※ 救急救命演習※	1 1									環境科学総合演習※	2
インターンシップ 6単位								ECO-TOPインターンシップ事前研修 ECO-TOPインターンシップⅠ	1 2	ECO-TOPインターンシップⅡ	2	ECO-TOPインターンシップ事後研修	1				

※はECO-TOP総合科目の必修科目

武蔵野大学　工学部　環境システム学科

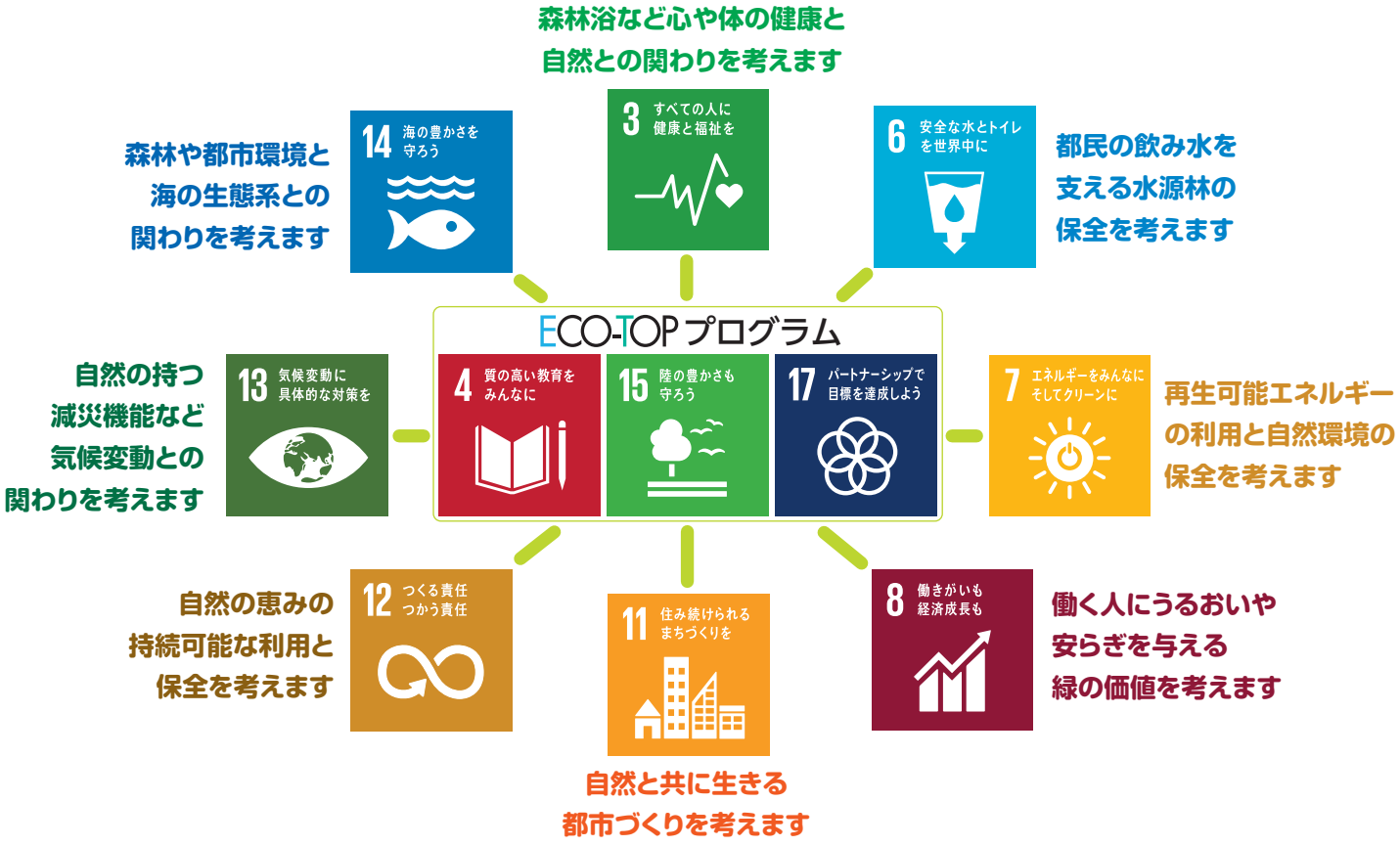
修了要件:合計34単位以上

		1年				2年				3年				4年			
		1・2学期	単位	3・4学期	単位	1・2学期	単位	3・4学期	単位	1・2学期	単位	3・4学期	単位	1・2学期	単位	3・4学期	単位
カリキュラム	自然科学系 6単位以上					生態学 地学概論1 生物学概論1	2 2 2	環境モニタリング1 環境学への展望 (生活環境から地球環境へ)	2 2	環境リスク論 生態系管理論	2 2	生物学実験 環境モニタリング2*1	2 2				
	社会科学系 6単位以上			環境問題概論2	2	環境リサイクル論 環境経済学1 環境政策論1	2 2 2	環境マネジメント論 食環境学	2 2	実践エコツーリズム*1 ライフサイクルアセスメント	2 2	環境経済学2 環境マネジメントシステム論 環境アセスメント 環境政策論2 地域再生プラン 持続可能社会論 エコプロダクツ 環境経営論	2 2 2 2 2 2 2 2				
	人文科学系 6単位以上					環境英語1 環境心理学	2 2	環境英語2	2	環境問題通史 自然環境教育演習*1	2 2	環境思想 環境教育論 環境倫理	2 2 2				
	ECO-TOP総合	環境問題概論1	2							環境学総合演習*1	2						
インターンシップ										環境インターンシップ*1	4						
6単位		総合研究1(ECO-TOP) 総合研究2(ECO-TOP)															2 2

赤字は必修科目　*1 時間割外科目

ECO-TOPプログラムはSDGs達成に寄与する人材育成制度です

東京都は、ECO-TOPプログラムが、自然環境分野に関連する様々な社会的課題の解決につながることを期待しています。下記には、SDGsの中でも特に自然環境分野と関わりの強いものを事例として挙げています。



ECO-TOP
インターンシップ実施概要

ECO-TOPプログラムでは、企業・NPO・行政３部門でのインターンシップを義務付けており、各団体の環境活動に関する理念、手法、方針等の違いを学ぶとともに、様々な組織での対応能力を養うことを目的としています。

企業でのインターンシップ
- 環境管理の考え方の理解（1 日以上）
- 業務現場での環境管理の実践現場体験（2 日以上）
- 自然保護活動等の実践現場体験（1 日以上）

NPOでのインターンシップ
- 活動の目的と背景の把握（1 日以上）
- 環境保全活動の実践現場体験（2 日以上）
- 合意形成を図る場での体験（1 日以上）

行政でのインターンシップ
- 各自治体の全般的環境状況の把握（1 日以上）
- 各自治体で行っている環境保全活動の実践現場体験（3 日以上）

5月 インターンシップ派遣予定者の決定 ▶ **7月** インターンシップ実施 ▶ **~9月頃** 各大学でのインターンシップ発表会 **12~1月**

平成30年度　課題解決型インターンシップの実施

国連サミットで「持続可能な開発目標（SDGs）」を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されるなどの社会的背景の変化を受け、平成30年度は試行的に「課題解決型インターンシップ」を実施しました。

課題解決型インターンシップでは、企業・NPO・行政のそれぞれの主体が具体的にどのような課題を抱え、その課題に対し、どのように向き合っているかを学生が肌で感じ、より高い目的意識をもつことのできるようなプログラムを実施しました。

課題解決型インターンシップ協力機関 ※五十音順

（特非）生態工房、高尾の森自然学校（運営：（一財）セブン-イレブン記念財団）、（株）地域環境計画、（株）フジクラ、三井住友海上火災保険（株）、（特非）みどり環境ネットワーク！、森ビル（株）、八千代エンジニヤリング（株）　ほか

企業インターンシップ

（最終発表の様子）

実績例　八千代エンジニヤリング株式会社

■ 実習生：３名（うち１名は下記とは別プログラムを実施）
■ 実習期間：平成30年6月27日(水)～9月11日(火)のうち下記の日程
■ 実習目的及び概要：外来水生植物の利活用に向けた具体的手法の検討について

日　程	実 習 内 容
6月27日	・印旛沼の特性と外来水生植物（ナガエツルノゲイトウ）について
7月10日	・環境アセスメントについて　　・ナガエツルノゲイトウの堆肥化について
8月10日	・ナガエツルノゲイトウ駆除のボランティアに参加
8月29日	・利活用に関する調べ学習　　・最終発表に向けての準備
9月11日	・最終発表準備、発表

平成30年度のインターンシップ受入企業　※五十音順
(株)千代田コンサルタント、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)ハチオウ、(株)日立製作所、
富士通エフ・アイ・ピー(株)、八千代エンジニヤリング(株)、RAUL(株)、(株)LIXIL、YKK AP(株)　ほか

NPO等インターンシップ

（キャンプで子どもと一緒に基地づくりをする様子）

実績例　一般社団法人まちやま

■ 実習生：３名
■ 実習期間：平成30年12月1日(土)～平成31年3月28日(木)のうち下記の日程
■ 実習目的及び概要：
環境教育の現場にスタッフとして関わることで、子ども大人を問わず、本物と触れる自然体験が大切であることを肌で感じるとともに、環境教育の場づくりに必要な要素を学ぶ。

日　程	実 習 内 容	日　程	実 習 内 容
12月 1日	オーガニックマルシェ出店	2月23日,24日	【親子向け】手前味噌づくり体験
12月 9日	【親子向け】お餅つき＆しめ飾りづくり体験	3月10日	【親子向け】羽釜ごはんの会
1月26日,27日	【親子向け】落葉かき＆焼き芋体験	3月12日	【子ども向け】放課後里山塾
2月10日	【子ども向け】野外クッキング＆炭づくり体験	3月23日	【親子向け】ヨモギ団子づくり体験
2月12日	【子ども向け】放課後里山塾	3月27日,28日	【子ども向け】宿泊型自然体験キャンプ
2月17日	【子ども向け】羽釜ごはんの会		

平成30年度のインターンシップ受入団体　※五十音順
(特非)アース・エコ、(公財)かながわ海岸美化財団、グリーン購入ネットワーク、(特非)国際自然大学校、
(特非)生態工房、(公社)日本環境教育フォーラム、(特非)日本国際湿地保全連合、(特非)ネイチャーリーダー江東、
(一社)まちやま、(特非)緑サポート八王子(戸吹北森を守る会)　ほか

行政インターンシップ

（民間緑地の現場視察の様子）

（発表の様子）

実績例　東京都環境局自然環境部

■ 実習生：10名

■ 実習期間：平成30年8月6日(月)～9月7日(金)のうち下記の日程

■ 実習目的及び概要：

自然環境保全に関わる業務及び現場視察を通じて、行政の自然環境保全に対する理念、手法及び方針等を学び、ディスカッションを行うことで理解を深める。また、インターンシップのまとめとして、班ごとに決めた課題について提案を行う。

日　程	実 習 内 容	場　所
8月 6日(月)	オリエンテーション、環境局自然環境部の事業説明、生態系に配慮した緑化の推進についての説明	都庁（新宿区）
8月 7日(火)	インターンシップの心構え・SDGsについての説明、課題解決能力向上研修	研修室（新宿区）
8月 8日(水)	生態系に配慮した民間緑地の現場視察	民間緑地(千代田区､江東区)
8月 9日(金)	グループディスカッション、中間発表	都庁（新宿区）
8月24日(月)	グループディスカッション、発表	都庁（新宿区）
9月 7日(火)	課題解決についてのグループディスカッション、グループ発表	研修室（新宿区）

平成30年度のインターンシップ受入行政　※五十音順

相模原市立環境情報センター、相模原市立博物館、座間市(環境経済部環境政策課)、多摩市、東京都(環境局自然環境部)、町田市　ほか

インターンシップ合同報告会

平成30年11月25日(日)、ECO-TOPプログラム認定大学の合同行事として、インターンシップ合同報告会を開催しました。学生や教員、インターンシップの受入先となった企業・NPO等・行政の方々、また、ECO-TOPプログラムを修了し、社会で活躍している修了生も迎え、総勢約90名の関係者が集う、大報告会となりました。

学生によるポスター発表では、参加者同士の活発な意見交換が行われ、交流会も、大学や関係機関の枠を越えた交流が多く行われ、つながりを作る有意義な時間となりました。

エコプロ 2018 への出展

東京ビッグサイトで開催された日本最大級の環境展「エコプロ2018」（平成30年12月６日(木)～８日(土)）にブースを出展し、認定大学の学生10名と共に、ECO-TOP履修生によるインターンシップ報告やパネル展示により、ECO-TOPプログラムの取組について紹介しました。

来場者との意見交換を交えながら、終始にぎわいを見せていました。

《履修生の声》

首都大学東京 都市環境学部 都市環境学科 自然･文化ツーリズムコース4年
(ECO-TOPプログラム履修生)

将来、環境に携わる仕事がしたいと考え、環境に関する幅広い知識を身に付けるために履修しました。インターンシップでは行政･企業･NPOの各組織で業務を体験できたので、同じ環境活動に携わる職業でもアプローチ法が異なること、また各組織の繋がりが強いことを学ぶことができ、貴重な体験となりました。

今後はこのプログラムでの経験を活かして、広い視野で環境について考えながら持続可能な社会の構築のために活動したいです。

修了生の声

それぞれの立場での現場体験は、普段大学では学べないことが多く、自然環境を学んでいる学生として広い視野を持つことの大切さを実感することができました。

インターンシップを通して、多くの方と出会い、様々な職種･業界の方とのつながりが出来ました。また、他大学の学生と交流し、刺激を受けました!

ECO-TOPでの経験を就職活動での自己PR欄に載せたところ、多くの企業の方から興味を持っていただけたため、とても強い武器となりました。

《社会で活躍する修了生の声》

国土交通省 都市局 公園緑地･景観課
(平成24年度　ECO-TOPプログラム修了生)

勝美 直光 様

ECO-TOP プログラムで里山管理のインターンに参加し、都市の緑と法制度の密接な関係性を実体験として学んだことが、現在の仕事を選ぶ契機の一つとなりました。

技術革新が目まぐるしい昨今、様々な分野の知識・技能を結集しなければ解決できない社会的課題に今後直面するはずです。ECO-TOP プログラムではこのような課題に対し、自然環境の観点から調整・解決する能力の基本を体得することができます。そのためにも、幅広い分野で活躍するECO-TOP プログラムの修了生が東京都や大学と相互に繋がり続けることが重要だと考えています。

ECO-TOPプログラムが目指す人材像

(Ecological Conservation Training of Personnel Program)

“自然環境に軸足を置いたジェネラリスト”

1. 自然環境保全に向けて様々な主体と協働できる能力がある人
2. 一地域の現場から、次世代を見据え、グローバルな視野に立って自然環境を考えることができる人
3. 論理的思考力と説明・コミュニケーション能力がある人
4. 決定能力とリーダーシップがある人
5. 現場感覚を持ち、アクティブに行動できる人

ECO-TOP インターンシップのご案内

東京都ではECO-TOPプログラムの趣旨に御賛同いただき、
ECO-TOPプログラムのインターンシップを受け入れていただく、
企業、NPO・NGO、行政機関を募集しています！

ECO-TOPプログラム　ホームページ https://eco-top.jp

ECO-TOPプログラムの具体的な情報を掲載しています。
インターンシップ実施企業やNPO・NGO、行政の担当者等を対象とした会員制ページを開設。
自然環境分野の情報交流の場として会員制掲示板を設置しています。

\Facebookもチェック！/

ECO-TOPプログラムの活動紹介、関連団体の最新情報などを随時発信していきます。
是非「いいね！」をお願いします！

https://www.facebook.com/ecotop.tokyo

東京都

ECO-TOP プログラムに関するお問合せ先

東京都環境局自然環境部計画課（計画担当）
TEL 03-5388-3548　FAX 03-5388-1379
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1 都庁第二本庁舎19階

FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C012635

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

登録番号(31)21